



安芸高田市長
浜田 一 義

この実現のための具体的な施策を展開しています。

「人が集い育つまちづくり」として、東広島高田道路・国道54号の整備推進、三江線・芸備線の鉄道網の堅守、さらに水道未給水区域の

新年明けましておめでとうございます。安芸高田市民の皆様には謹んで新年のごあいさつを申し上げます。平素は、市政推進に對しましてご理解、ご協力を賜り心より厚くお礼を申し上げます。

まずは、昨年のおめでたい出来事として、甲立古墳が文化審議会から国史跡に答申されました。

また、サンフレッチェ広島が3回目のJリーグ優勝を果たされました。まさに、安芸高田市の地域資源・市民の皆様の支援が大き

く注目された出来事です。昨年は、合併10年を経過し、新たな成長戦略に取り掛かる初年度となりました。「第2次安芸高田市総合計画」を策定し、今後10年で目指す将来像「人がつながる田園都市 安芸高田」を定め



安芸高田市議会議長
山 本 優

安芸高田市民の皆様、新年明けましておめでとうございます。安芸高田市議会を代表して、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

市民の皆様には、お健やかで希望にあふれた輝かしい新年をお迎えることとお慶び申し上げます。

また、日頃より安芸高田市議会に對しまして、多大なるご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年、我が国が世界最初の被

解消に向けた整備といった生活基盤を守り、働きやすい環境を確保

して若年層の流出に歯止めをかけ、子育て・婚活定住団地の整備、ニーズにあった子育て支援策により出生率の底上げを図ると共に、空き家バンク制度を活用して都市部からの生産年齢人口のUITターンを推進して「住み・育み・働く」環境を整え、市の活力創出に取り組んでいます。

また「安心して暮らせるまちづくり」として、市民総ヘルパー構想により、地域で支え合う福祉のまちづくりを推進していますが、併せて、一人ひとりの健康づくりとして、健康診断結果に基づく生活習慣病発症予防・重症化予防を目的とした保健指導を行って、健康寿命を延ばし、健やかに地域で

爆国となった、あの忌まわしい原爆投下から70年が経過し、改めて戦争の愚かさや世界平和について考えさせられた年でありました。

また、わが市をマザータウンとするサッカーJリーグの「サンフレッチェ広島」が、セカンド・ステージで優勝し、チャンピオンシップにおいても勝利し、2年ぶり3度目のJリーグ優勝という成果を成し遂げた記念すべき年でもありました。心よりお祝いを申し上げますとともに、2連覇に向け今年も大いに期待いたすところであります。

さて国においては、人口急減・超高齢化という我が国が直面する

活躍して頂く事を後押ししています。そして「地域資源を活かしたまちづくり」として、現在、地域の資源を広く周知して観光客を誘致する取り組みを実践しています。

昨年1月の「ひろしま安芸高田神楽東京公演」は約1,200人の方が観賞され、入場券は公演の前月までに早々と完売し、着実に知名度を高めています。また、「高

校生の神楽甲子園」には全国から15校の参加を頂き、過去最多の約3,100人が来場されました。これからの伝統芸能を担う若い力の育成にも繋がっています。

これらの実績は、市民の皆様をはじめ、安芸高田市ふるさと応援の会にもご活躍頂いた成果でもあります。現在会員約2,000名と大きく成長し、大都市圏との強い繋がりと発展しています。「ふるさと」を想う心は、住んでいる私達だけでなく、全国に広がっている事を実感しています。まさに、「まち」と「ひと」が我々の財産

です。将来に渡り発展するために、これに加えて更なる活力を生む「しごと」の創出も重要な施策です。

地方創生の取り組みも具体的な段階に入りました。「安芸高田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、この戦略の推進と人口

大きな課題に対し政府一体となって取り組むため、「まち・ひと・しごと創生本部」を設置されました。

本市においても、「人がつながる田園都市 安芸高田」を将来像に掲げ、「安芸高田まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、UITターンの移住人口に対応する空き家対策、人口減少の歯止め対策、少子高齢化対策などの推進に努めることとしております。

厳しい財政状況の中ではありますが、創意工夫を行いながら将来像を実現する必要があります。安芸高田市議会といたしましては、二元代表制の一方の柱として、これまで以上に民意を反映させるため、議会の権限と機能を十分に発揮し、行政が行う各種事業に對して、様々な提言を行うなど、その役割を果たしてまいります。

また、議会基本条例の制定にむ

問題対策を実施する推進本部を立ち上げて、総合計画とリンクした集中的な施策展開を実施しています。「まち・ひと・しごと」に注力しつつも、喫緊の課題である人口減少問題については、市の組織を横断して取り組み、併せて財政運営の効率化も同時に推進しています。

地方交付税の合併特例加算が段階的に減少し、平成31年度には加算措置が終了します。これまでの施策を見直し新たな施策へ集中させて行政経営の健全化を推進します。「第3次安芸高田市行政改革大綱」に基づき、安定した経営基盤を市民の皆様と一丸となって確立するため、職員数の適正な管理、事業の選択と集中、民間委託の取り組み、施設の適正配置などに取

り組んで参ります。また、市民の皆様には、ご理解ご協力を賜り、引き続き自助・共助・公助の理念の下に、市民総ヘルパー構想による医療・福祉・介護の費用抑制を進めて参りたいと考えております。

1人ひとりの力を合わせ、大きな力とし、「人がつながる田園都市 安芸高田」を実現できるよう、取り組んで参ります。

終わりに、市民の皆様のご健勝とご多幸を心より祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。

け昨年7月に新たに議会改革特別委員会を設置いたし、「議員定数について」、「今後の議会報告会の在り方」や「正副議長選の制度について」、「議会倫理規程について」などをテーマに、議論を重ねているところがございます。

市民の皆様への負託にこたえるべく、「市民に開かれ、透明で解りやすい議会」を推進し、より一層の議会活性化を目指し努力してまいる決意でございます。

どうか本年も市議会に對しまして、一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成28年の新春にあたり、本年が皆様にとりまして幸せで素晴らしい年となりますよう、心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。

新年めがじあゆむ